

## 6 平成26年度学力向上アクションプラン

### (1) 学校の状況と地域の実態

- 図書館支援や環境整備活動などの学校支援ボランティアに保護者や地域の方が参加するなど、保護者は学校の取り組みに協力的で理解がある。
- 部活動がさかんであり、約9割の生徒が入部している。また、全職員が顧問についている。
- 教職経験10年未満の職員が増えてきており、全体の56%をしめる。生徒指導・教科指導等で必要に応じて助言の場を設定しているが、今後、組織的な研修を十分に行う必要がある。
- 授業に集中できない生徒や時間や服装等にけじめがつけられない生徒が一部にみられる。

### (2) 今後3年間の方向（中期学校経営方針）

#### 学力向上に関する指導の目標・方針（平成27年度末の姿）

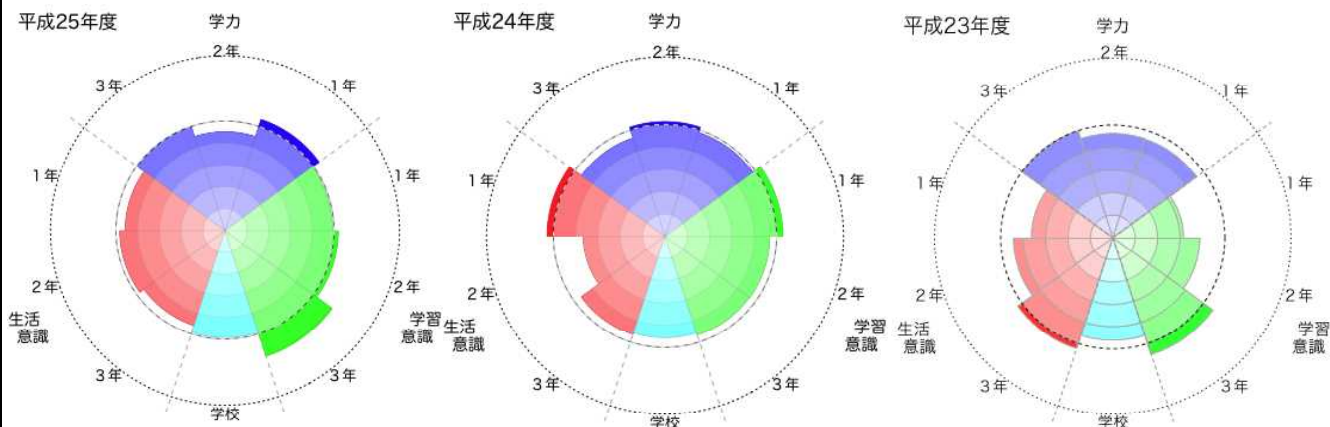
- 学習指導要領の内容に則した「身に付けさせたい力（単元目標）」を意識した設定を行い、生徒が課題を自分のものとして捉えることができるようになっている。
- 生徒が学習に対して、主体的に取り組めるように、発達段階に応じた緻密な計画をたて、意識調査等进行分析し、より精度の高い取組を実践している。
- 学習の基盤的能力の育成と定着のため、学習規律の確立、学習習慣・生徒習慣の改善が図られている。

### (3) 横浜市学力学習調査等からの平成26年度の実態把握

#### ①「横浜市学力・学習状況調査」のプロフィールから

##### ア チャートの全体的な傾向

学力は1年が高く、2年が低い。全体的に標準得点は上昇傾向にある。学習意識は3年間で最も高い。特に3年生の意識は1年次と比べると高まりが顕著である。生活意識も全体的に高まってきている。

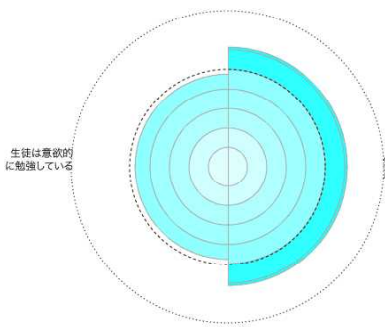


##### イ 学校質問用紙

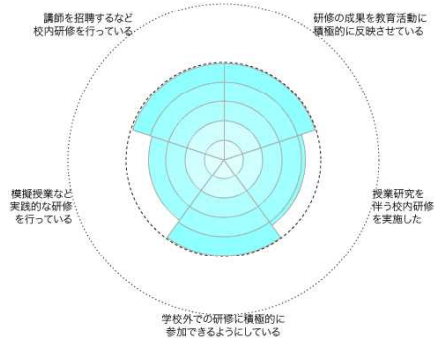
3年間共通して、生徒が礼儀正しいと感じている職員が多い。また、1昨年度の課題であった、授業研究や模擬授業・事例研究の項目は改善した数値を維持している。組織的なPDCAでは学校教育目標の達成にむけた教職員の意識は大幅に向上した。一方、横浜版学習指導要領の活用に課題

がみられる。

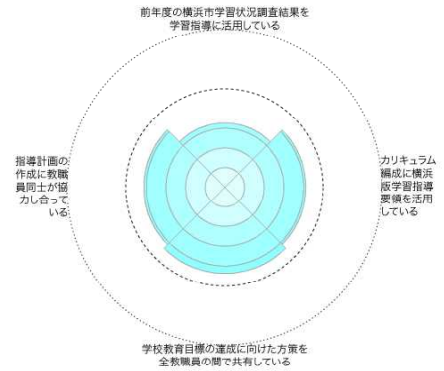
平成23年度 学校質問紙 児童・生徒



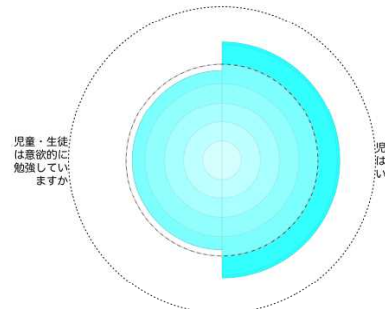
平成23年度 学校質問紙 研究・研修



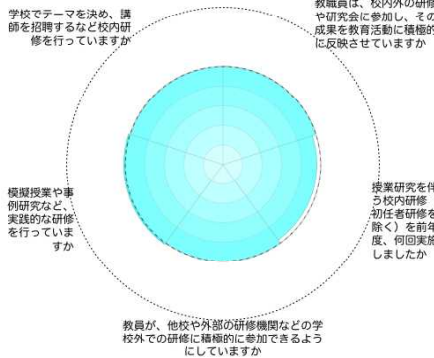
平成23年度 学校質問紙 組織的なPDCA



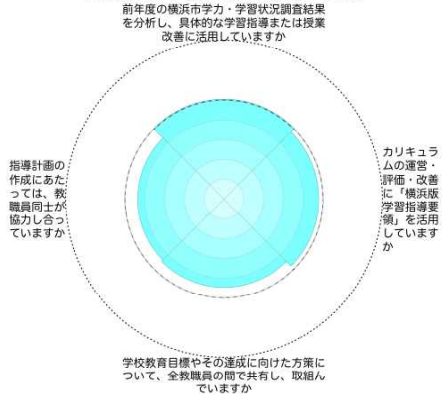
平成24年度 学校質問紙 児童・生徒



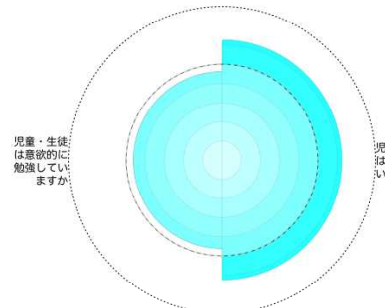
平成24年度 学校質問紙 研究・研修



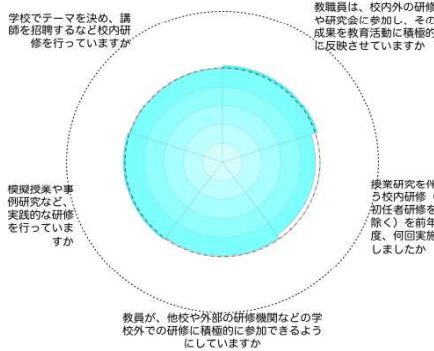
平成24年度 学校質問紙 組織的なPDCA



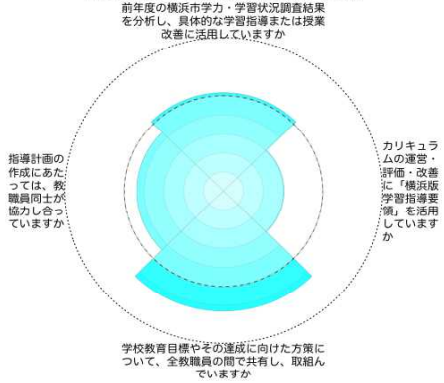
平成25年度 学校質問紙 児童・生徒



平成25年度 学校質問紙 研究・研修



平成25年度 学校質問紙 組織的なPDCA



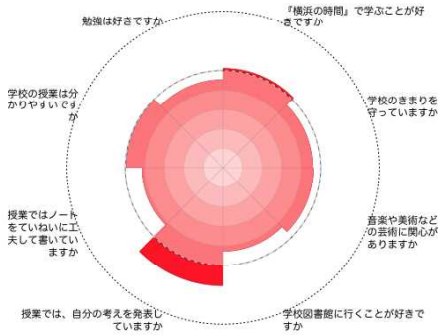
## ウ 生徒質問用紙

<1年生>

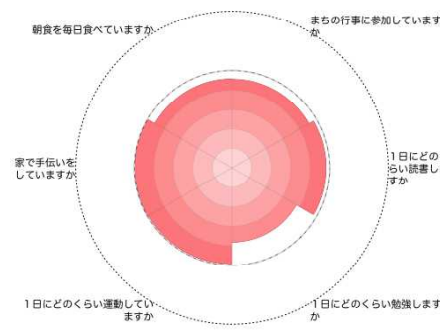
よい項目：「自分の考えを発表」「ものごとを最後までやりとげてうれしい」「コミュニケーション好き」「あいさつを自分からする」

悪い項目：「ノートを工夫して書く」「1日の勉強時間」「約束を守る」「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標」

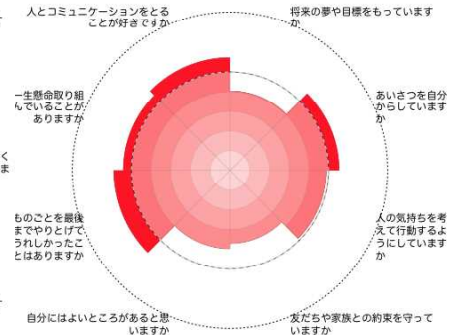
平成25年度 中学校1年 生活意識 学校生活



平成25年度 中学校1年 生活意識 校外生活



平成25年度 中学校1年 生活意識 自己意識



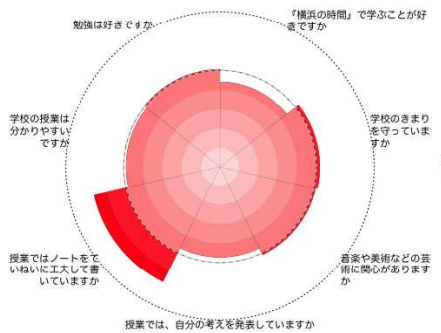
< 2年生 >

経年変化：全体的に低下傾向にある。特に自己意識の多くの項目が下がっている。「最後までやりとげ、うれしい」「一生懸命取り組んでいることがある」の低下が激しい。一方「読書」「運動時間」の項目の数値が上昇している。

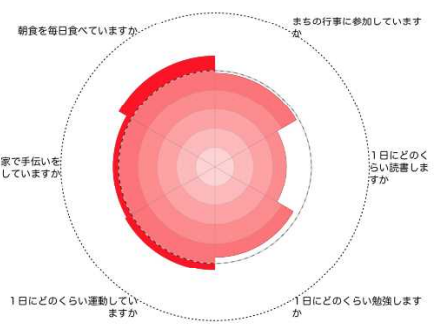
よい項目：「ノートを工夫して書く」「1日の運動時間」「約束を守る」

悪い項目：「学校図書館に行くのが好き」「自分の考えを発表する」「自分にはよいところがある」

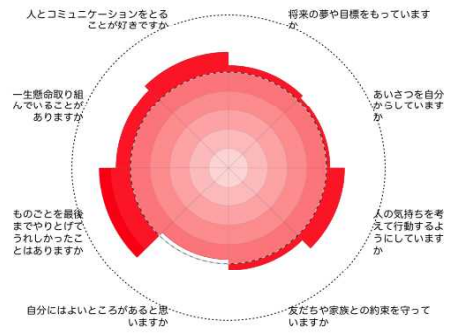
平成24年度 中学校1年 生活意識 学校生活



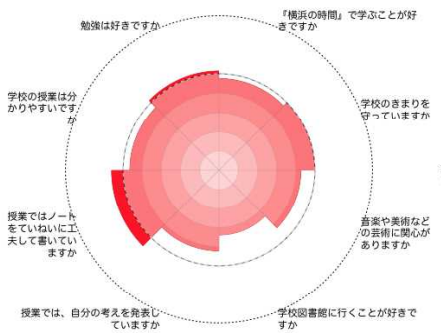
平成24年度 中学校1年 生活意識 校外生活



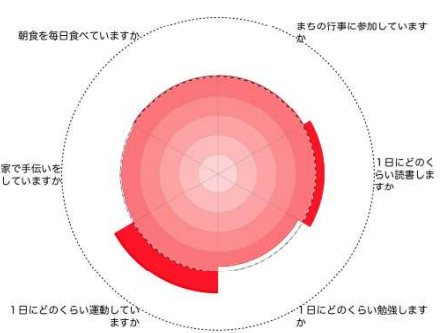
平成24年度 中学校1年 生活意識 自己意識



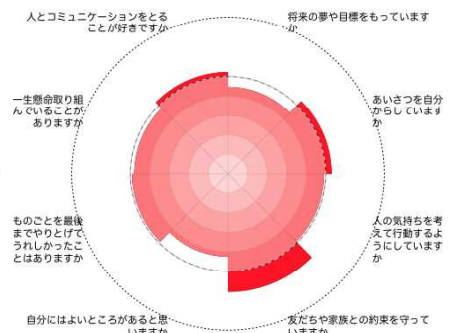
平成25年度 中学校2年 生活意識 学校生活



平成25年度 中学校2年 生活意識 校外生活



平成25年度 中学校2年 生活意識 自己意識



< 3年生 >

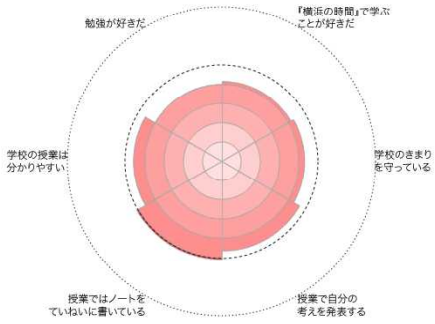
経年変化：全体的に上昇傾向にある。特に生活意識の多くの項目が上がっている。「勉強が好き」「自分の考えを発表」「約束を守る」「将来の夢や目標」の項目の数値が上昇している。

よい項目：「家の手伝い」「授業はわかりやすい」「1日の勉強時間」

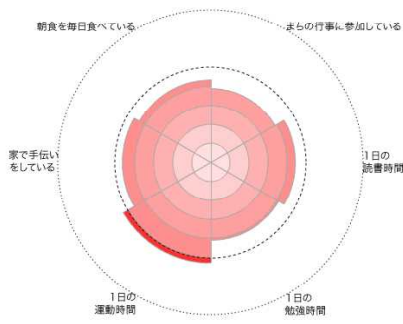
悪い項目：「学校図書館に行くのが好き」「まちの行事に参加」「一生懸命なことがある」



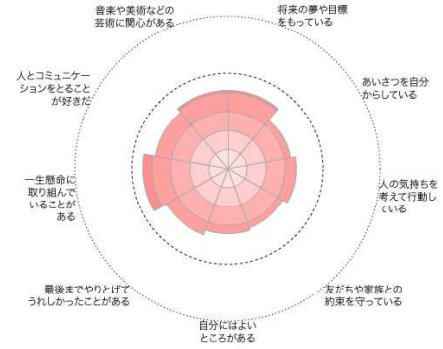
平成23年度 中学校1年 学校生活



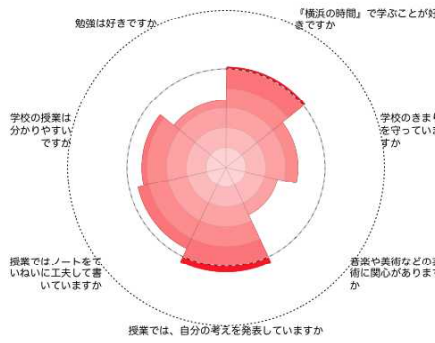
平成23年度 中学校1年 校外生活



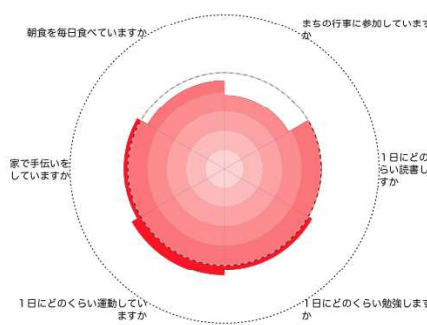
平成23年度 中学校1年 自己意識



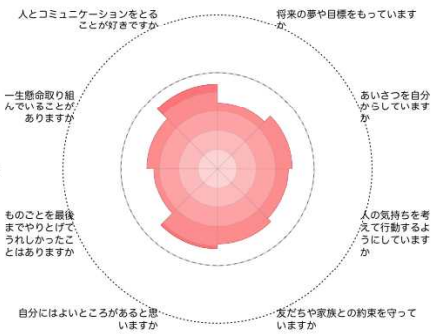
平成24年度 中学校2年 生活意識 学校生活



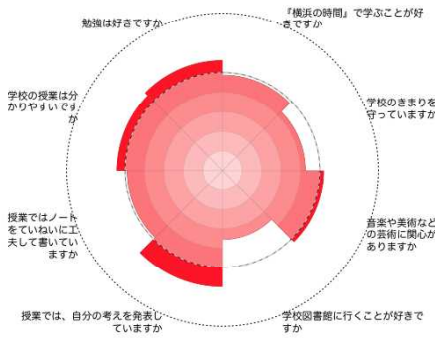
平成24年度 中学校2年 生活意識 校外生活



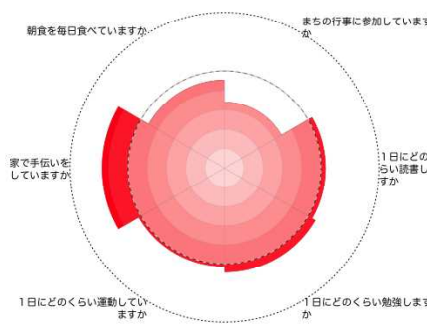
平成24年度 中学校2年 生活意識 自己意識



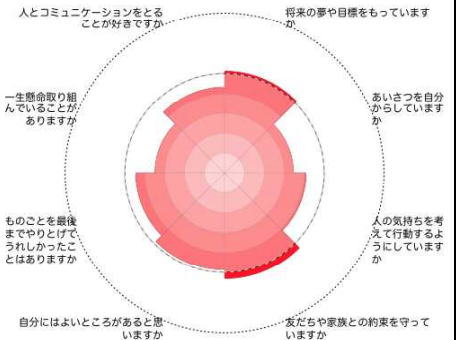
平成25年度 中学校3年 生活意識 学校生活



平成25年度 中学校3年 生活意識 校外生活



平成25年度 中学校3年 生活意識 自己意識



②標準得点の推移

	国語	社会	数学	理科	英語
1年生	101.20	100.58	101.58	100.14	100.17
(1年)	98.77	99.36	100.30	98.76	99.28
2年生	97.00	98.44	97.30	100.31	97.88
(1年)	98.9	97.7	99.2	98.6	97.9
(2年)	98.27	102.59	100.35	100.55	98.82
3年生	98.73	100.97	100.75	99.91	98.28

## (4) 平成26年度 目標と具体的方策

平成26年度 目標  
言語活動を全教育活動の中で充実させ、「思考力・判断力・表現力」を育成し、「確かな学力」の定着を図る

### <1>学校組織としての共通の取組

- ア. 日頃より生徒の学校生活に積極的に関わり、相談活動を充実させ、生徒の心情や思考を理解し、生徒の立場に立った生徒指導を実践し、目標に向け努力する姿勢を育成します。
- イ. 指導実践において、常に学習形態の工夫、教育機器の活用を実践し、積極的な授業公開と研究に努め、指導目標達成に向けての共通理解を図ります。
- ウ. 授業展開の中の「発問や課題の出し方」を工夫し、生徒に考えさせる過程を入れ、単に知識理解の習得だけでなく、意味の理解や活用にも重点を置いた指導を実践します。
- エ. 家庭における「起床時間」「学習開始時間」「就寝時間」を固定し、学習時間を確保するとともに生活習慣を改善し、授業にも集中できるよう支援します。

## <2>学年・教科等としての取組

### 1 知識・技能の習得にかかわる具体の方策

#### 【国語】

- 小テストの継続実施、学習プリントの活用  
副教材を活用したり、小テストを継続的に実施したりすることで漢字力の定着を図る。  
学習プリントの活用により、学習内容の整理と知識の定着を図る。

#### 【社会】

- 単元テストの実施による、知識・技能の習得を確認  
ワークシートの活用により、内容の整理と知識の定着、技能の習得を図る。

#### 【数学】

- 計算技能習得のための継続的な繰り返し学習の実施  
既習内容をくりかえし練習し、問題練習をする時間を確保することで基礎・基本の定着を図る。

#### 【理科】

- 復習の時間の導入  
毎回の授業の冒頭に前回の授業の復習を行い、教科書の内容など基礎・基本の定着をはかっていく。

#### 【音楽】

- 必要性の喚起  
歌ったり演奏したりする活動の中で、表現に必要な知識・技能の必要感を引き出し、基礎的な表現の能力を育成する。

#### 【美術】

- 自己評価カード・ワークシートの活用  
制作工程や表現に必要な技能をまとめたワークシートを活用し、授業ごとに自己評価をすることで基本的技能に対する理解を深める。
- 鑑賞の授業の工夫  
鑑賞して感じたことや気付いたことを自分の言葉で書いたり話したりして友達と伝え合う活動を通してそれぞれの価値観や考え方の相違を認めるとともに、美術文化についての理解を深める。

#### 【技術】

- 基礎的知識・技能の習得  
工具の名称や使用方法など授業（作業）内で繰り返し使用し、作業カードなどに自分でも使用させていく。
- 製作を丁寧に行い、作品を完成させる実践的能力を育てる。

#### 【家庭】

- 作業カード・自己評価カードの活用  
作業カードに進度ごとの課題を明記し、そのカードに評価をつけていくことにより、作品の製作を丁寧に行い、作品を完成させる実践的能力を育てる。
- 実習中の技能テストに実施  
作品の製作過程に、基礎・基本の実技テストを取り入れて、基礎的な技術の定着を図る。

#### 【保健体育】

- 体力の向上を図り、基本的運動技能を身につける学習の実施。  
繰り返し練習を積み、体育カードに自己評価、学習のめあてを記入することで、技能の確認をし、より発展した技能につながるよう発問、声かけを行う。

#### 【外国語】

- 小テストの実施（英単語、基本文など）  
英単語テストを継続的に実施することで、基礎、基本の定着を図る。
- アクティビティ（英語活動）の実施  
目標とする文法事項を含んだアクティビティ（英語活動）を行い、実践を通して、四技能（聞く、話す、読む、書く）の定着を図る。
- 自己評価カードの使用  
自己評価カードを用いて、学習状況を把握させる。

## 2 思考力・判断力・表現力の育成（活用する力）にかかわる具体の方策

### 【国語】

- 読解力向上へ向けた言語活動の充実  
根拠をもって、自らの考えを表現する学習活動を取り入れる。  
相手や目的に応じて、定められた形式や文字数で書く活動を取り入れる。  
様々な文章や資料を読む機会や、自分の意見を述べたり書いたりする機会の設定。

### 【社会】

- レポートの作成、発表の充実  
都道府県・国調べや、身近な地域の歴史的な調査などのレポートで自己の考えを表現する。  
日々の時事問題に関心を持ち、新聞記事に対し考察し、論理的に考えをまとめ、発表できる。

### 【数学】

- レポート、テスト直しの充実  
定期テストのやり直しレポートを課題として、表現力や、処理能力の向上を図っていく。また、様々な考え方を示す機会としてもレポートを利用していく。

### 【理科】

- レポートの考察の活用  
実験・観察レポートの考察の書き方を通して、基本的な考え方を指導するとともに、応用的な考え方を発見していくことを支援していく。

### 【音楽】

- 関心・意欲の喚起  
表現活動、鑑賞活動を体験する中で、楽曲の構成や背景、歴史や文化等の興味・関心・意欲を喚起する。

### 【美術】

- 構想をまとめるためのワークシートの活用  
作品の構想を練る時に必要な資料や情報を集め、ワークシートに記入しながら構想を深めるようにする。

### 【技術】

- 言語活動の充実  
使用目的や使用条件に即した機能や構造を検討し、製図をかける時間の確保。
- 交流活動の充実  
作品等を見せ合ったり、製作の意図を発表したりする時間の設定。

### 【家庭】

- 課題学習  
自分の生活を振り返り、課題を見つけ、その課題に応じた具体的な解決方法を考え、より生活を実践する態度の育成。

### 【保健体育】

- 体育カードの活用  
自分の能力に応じた課題設定ができ、自己評価・相互評価ができるようにする。

### 【外国語】

- 自己表現活動の充実  
学習した言語事項を用いた表現活動（スキット、スピーチ、レポートなど）の実施。

### 【特別活動】

- 集団の一員としての自覚と課題解決能力の育成  
学校での活動を通して学校や地域の一員としての自覚を高めながら、課題解決のために自主的な活動を構想し、見通しを持って取り組む力の育成。
- 集団活動の充実と自主性の育成  
生徒会活動や各種委員会活動の活性化を図り、学級での話し合いを充実させることによって自分たちでよりよい学校づくりを進める。

### 【個別支援学級】

- コミュニケーション能力の育成と個々のニーズにあった指導  
報告・連絡・相談活動を中心にコミュニケーション能力を高め、自分で判断し行動できる人間を育成する。

### 【総合的な学習の時間】

- 総合的な思考力表現力の育成  
自然教室・修学旅行等の旅行的な行事の事前、事後学習を充実させ、総合的な思考力、表現力を育成する。  
また、職場体験学習への取組を通じて、将来の進路について考え、暫定的な職業選択ができるようにする。